令和8年11月15日執行

熊本市長選挙公報

熊本市選挙管理委員会

井坂たかひろの8つの約束　主役は市民。

税金の使い道を見直し、子育てや公共交通など市民の暮らしを第一に考えた市政を実現します。

1 庁舎・行政 **市役所本庁舎は建て替えない。**

2 行財政改革 **既存事業を見直し、暮らしの財源を生み出す。**

3 交通・渋滞 **移動の選択肢を増やし、渋滞対策を強化。**

4 子育て・教育 **家庭の負担を減らし、子どもの健やかな成長を支える。**

5 各区の権限強化 **5区の特色を生かし、地域の課題は地域で解決。**

6 農業振興 **地域の農業を守り、次世代へつなぐ。**

7 地下水保全 **熊本の地下水の質と量を堅持**

8 歴史・文化 **歴史・文化財・伝統の継承**

プロフィール

熊本県人吉市生まれ（51歳）
県立第二高校卒 / 鹿児島大学工学部卒 / 肥後銀行 就職
熊本県立高校機械科 21年 / 熊本市交通局（車掌）
2023年熊本市議会議員（中央区選出）/妻、子3人

公約
https://izakatakahiro.jp



井坂 たかひろ（いざか）

元 熊本市議会議員
51歳
無所属

強い熊本、支え合う熊本。



大西 一史（おおにし かずふみ）

〈58才〉

・生命を守る 強い熊本プロジェクト

慢性的な課題である主要幹線道路のボトルネック解消やボトルネック解消を強力に進めます。また、発災時には緊急車両の優先通行や広域からの物資輸送・避難誘導をスムーズに行える防災交通システムの構築を目指します。【任期中実現】（2、50）

上下水道管路、浄水・配水施設、道路、橋梁、法面、学校、保育所、福祉施設、市営住宅、文化施設の耐震化・老朽化対策を進めます。【任期中実現】（8、50）

全市立小中学校の体育館等について、空調設備（エアコン）は令和9年度末までの整備完了を目標に整備します。【任期中実現】（9、50）

災害・復興政策を貫く原則は、「制度に被災者を合わせるのではなく、被災者に制度を合わせる。待つ支援から、届ける支援へ。」です。発災前は住宅と都市を強くする。発災時は住宅と命を守る。避難中は健康と尊厳を守る。発災後は制度からこぼれる人を出さず、生活再建まで伴走します。

・暮らしを支える 支え合う熊本プロジェクト

こども医療費助成、多子世帯への保育料等支援、子育て応援ギフト等を充実します。学校給食費については、任期中の中学校までの完全無償化を目指します。【継続拡充】（28、50）

子育てと仕事を両立させる社会の実現のため、テレワークや短時間勤務など多様な働き方を先進的に導入している「子育て支援優良企業」を広く周知し、社会全体で子育てを支える機運醸成を図ります。【継続拡充】（30、50）

・未来を拓く重点政策

公共交通の速達性と定時性を抜本的に高め、道路を最大限に活用することなく既存の道路空間を最大限に活用するため、市電の軌道敷をバスやBRTも走行できる公共交通専用走行空間として活用する検討に着手します。【任期中実現】（34、50）

熊本地域の貴重な財産である、良質で豊富な地下水を次世代に確実に継承するために、熊本地下水保全条例の見直しを行うなど地下水保全対策に取り組みます。【継続拡充】（13、50）

全マニフェスト（公約）はホームページでご覧いただけます。

コチラから

市庁舎について

大規模災害時に市役所そのものが機能を失えば、市民の生命と暮らしを守る災害対応にも重大な支障が生じます。大規模災害が起きても司令塔（市役所）が止まらない災害対策本部が機能し続ける、現在、耐震改修、減築、災害対策機能の整備、新庁舎整備など、複数の選択肢について専門家による検証を進めています。必要な機能は確実に守り、削ることのできる規模とコストは徹底して削ります。目指すのは「立派な市役所」ではありません。どのような災害が起きても市民を守るために機能し続ける、強い防災拠点です。

投票日

11月15日(日)

この選挙公報をよく読んで投票をしましょう。

（投票時間　午前7時～午後8時）

（この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。）両面をご覧ください。

令和8年11月15日執行

熊本市長選挙公報

熊本市選挙管理委員会

熊本市庁舎建て替えをSTOP!

未来への投資で、人口と所得が増える成長都市くまもとへ

プロフィール
- じんだなみこ（48歳）
- 東精高校卒業
- 高知女子大学卒業
- 三兄弟の母・シングルマザー
- 経営者10年
- 趣味：子どもと散歩

1 熊本を子育て日本一の都市に！第一子からの保育料無償化
- 子どもの医療費完全無償化
- 中学校の給食費無償化
- 保育サービスの充実・待機児童の解消
- 産後サポート・学童保育の拡充

2 人口が増え、所得が増える成長都市へ
- 若者の定着支援（奨学金・就職・起業支援）
- 高付加価値企業を積極誘致
- 市内企業の生産性向上・DX支援

3 市民が納得する政治を実現
- 市政の情報をわかりやすく公開
- 市民の意見が反映される仕組みをつくる
- いただいた意見に必ず答える、いただいた意見に返信する仕組みづくり

4 被災者の生活徹底再建支援と地域防災力強化
- 被災者の生活徹底再建支援
- 地域の防災力強化
- インフラの強靭化
- 快適な避難所の整備

5 防災拠点や市役所機能を各地へ分散
- 市役所は建て替えないで、修繕して使う
- 防災機能や市役所機能を各区・地域へ分散
- 本庁機能は必要な機能に絞りスリム化

6 渋滞を減らし、スムーズに動く街へ
- 公共交通の利便性向上
- AI・データの活用による交通最適化
- 渋滞交差点のデータ見える化、住民の意見を入れる仕組み

7 区役所の仕組み改革
- 区役所への権限の移譲
- 区長を公選し、公選に近い仕組みを作る
- 地域の声が熊本市へ届く仕組みへ

8 不登校は重大な社会問題
- 認定フリースクールへの利用助成
- 子どもの居場所づくりと学習支援
- フリースクールへの給食の配食を検討

9 熊本の水と安全を守る
- 豊富な地下水を質・量ともに守る
- 予防保全の条例への明記
- 長射程ミサイルへの対応を含む安全保障の強化
- 市民の不安に対し、情報公開と説明責任を徹底

10 熊本市動植物園改革
- 種の保存や教育・研究などの公共性を維持
- 収入と支出を見える化し、黒字化へ
- 民間の知恵とノウハウを活用し、魅力と収益力を向上

11 「常設型」住民投票条例を制定
- 市民生活に重大な影響を及ぼす政策は、市民の意思を直接問う仕組みをつくる

12 物価高騰対策
- 市独自の生活支援の展開
- 子育て世代・低所得者への支援
- 中小企業・個人事業者への支援



じんだ なみこ

無所属
48歳

岡 和久

無所属
五三歳

一、市役所の建て替え問題
二、現職の市長の不正、結託、汚職等を熊本県民、市民の皆様に御宣
三、肥後銀行の不正、結託の問題
四、令和8年熊本震災にての今後への対策等にインフラの事
五、大手ゼネコンの不正に結託、汚職
六、少子化問題
七、物価高に対しての取り組みを
八、事前活動の訴え
九、その他、諸々



古木 浩一

無所属
六十六歳

近くの小さな公園トイレには、トイレットペーパーがありますか。私が住む北区ではありません。私は上ばかり見上げる市政ではなく、下（土台）を確実かためる政治を目ざします。

熊本市にとって水は大切です。50万人以上の都市で100%地下水はここだけです。県庁横に水道局（昨建て）はあります。周りに関連会社が多数あります。水道公社は2016年以前に設立（熊本地震前）、理事長をはじめ57名の社員がいます。水の科学館を水道料金で運営されています。水道料金を値上げしないで。

（この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。）両面をご覧ください。